

# ◆小中一貫教育推進シート

## 南河内中学校区（ 学校課題 研究チーム ）部会

部会長	杉山 薫	副部会長	飯野 真由子
部員	稲葉 恵子	今城 生子	佐々木 寛生
	高橋 由枝	増山 三枝	古久保 和代

【目指す子ども像】		
<p>小1 小2 小3 小4 ← 学びの基礎をつくる →</p> <p>○進んでなかよく勉強する子 ○友だちにやさしくできる子 ○元気に楽しく運動する子</p>	<p>小5 小6 中1 ← 学びを広げる →</p> <p>○自ら考え学び合える子 ○心やさしく助け合う子 ○健康で元気な子</p>	<p>中2 中3 ← 学びを深める →</p> <p>○自ら学んで互いに高め合える子 ○心豊かで助け合える子 ○体をきたえやりぬく子</p>

<p>【実践研究課題】</p> <p>○学校課題の推進 （各教科においてコミュニケーション能力を育成するために考えられる活動を検討する。） ○学習指導、国際理解教育全体計画の作成</p>	
---	---

### 【R2年度の取組のまとめ】

	学校課題グループ	英語科、外国語活動授業研究グループ
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科においてコミュニケーション能力を育成するために考えられる活動を検討する。</li> <li>学習指導全体計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス評価の作成、検討</li> <li>国際理解教育全体計画の検討</li> <li>振り返りカードの作成</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科においてコミュニケーション能力を育成するために考えられる活動検討し、各教科の年計に反映することができた。 → 資料1参照</li> <li>次年度の学校課題の方向性を検討することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス評価を作成し、9月に3小学校で実施することができた。評価基準が曖昧な部分について再検討し、計画を改善した。 (1月にも2回目パフォーマンス評価を実施)</li> <li>3小学校共通の振り返りカードの作成、活用ができた。 → 資料2参照</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度の学校課題のサブタイトルまでは、共通のものにできなかった。義務教育学校になったときにうまく引き継げるかが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校も新学習指導要領実施に伴い、パフォーマンス評価計画を新たにしていける必要がある。(9年間を見通した計画になるよう、小学校の計画も再検討が必要。)</li> </ul>

### 【年間活動計画・実施内容】

小中一貫の日	実施内容	具体
1 5月20日(水)	・代表者打合せ(今後の活動確認・伝達)	
2 7月1日(水)	・A部会の実施 ・(研究チーム)各教科でのコミュニケーション能力育成のための活動を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容の確認</li> <li>コミュニケーション育成のために取り入れたい活動について、各学年各教科の整合性を確認した。</li> <li>パフォーマンス評価について</li> </ul>
3 8月3日(水)	・A部会の実施 ・(研究チーム)学習指導、国際理解教育全体計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校課題について</li> <li>パフォーマンス評価について</li> </ul>
4 9月16日(水)	・B部会 ・(研究チーム)学習指導、国際理解教育全体計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校課題について</li> <li>パフォーマンス評価について</li> </ul>
5 12月21日(月)	・薬師寺小学校にて英語の授業研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫した指導の在り方</li> <li>新学習指導要領の実施に関する研修</li> </ul>
6 1月27日(水)	・全体会・部会の報告会	コロナウイルス感染症拡大防止のため研修の中止

○ 令和4年度の南河内小中学校開校へ向けて、校長部会、教頭部会、教務主任部会、事務部会での会議を定期的に開催するとともに、小中一貫の日には、A部会(教育計画作成)・B部会(年間指導計画の整備)に分かれて準備を進めた。

	1-4年	5-7年	8・9年
めざす児童生徒像	相手を大切にし、自分のことを伝える（伝え合う）ことができる児童	相手とのかかわりを大切にし、互いの考えを伝え、深めることができる児童生徒	自他を尊重し、互いの考えを深め、広げることができる生徒
指導内容の重点	相手を大切にしたい（相手を意識した）話し方・聞き方の指導	相手を意識した話し合い・伝え合いのしかたの指導	相手を尊重した話し合い・伝え合い・学び合いのしかたの指導
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、聞いたり、質問したりする活動</li> <li>○友達の発表を聞いて、感想や質問、共通点、相異点をつなぐ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合い、互いに自分の考えや意見を伝え合う活動</li> <li>○友達の発表を受けて、感想や質問、共通点、相異点をつなぐ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の立場や考えを尊重しながら、分かりやすく伝え合う活動</li> <li>○自分の考えを広げたり深めたりして学び合う活動</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や図を提示して、分かりやすく説明する活動</li> <li>○グループで話し合い、意見をまとめる活動</li> <li>○校外学習等で外部の人と関わり合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を分析し、説明し合う活動</li> <li>○グループで話し合い、多様な考えに気付いたり、自分の考えを深めたりする活動</li> <li>○校外学習等で外部の人と関わり合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料を関連付けて分析したり、根拠や理由を入れて説明したりする活動</li> <li>○資料等を適切に示しながら、考察したことについて意見交換し合う活動</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図や表、具体物を使って解決の仕方を一緒に考えたり、説明したりする活動</li> <li>○自分の考えと比べながら聞く活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考え方を筋道立てて友達に説明したり、友達の発言につなげたりする活動。</li> <li>○よりよい考えに向けて話し合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験のやり方や分担、予想などをグループで話し合う活動</li> <li>○身の回りの事物・現象について、話し合いながら疑問を形成し、課題として設定する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験のやり方や分担、予想・検証方法などをグループで話し合う活動</li> <li>○観察・実験の結果などを整理した上で、考察・推論を交流し、自分の考えを説明する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見通しをもって観察・実験を行い、その結果の分析についてグループで交流する活動</li> <li>○立案した問題解決方法について交流する活動</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関わりのある人にインタビューする活動</li> <li>○活動したことをグループや全体で話し合っ、まとめたり、振り返ったりする活動</li> </ul>		
外国語活動 外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを相手に伝える活動</li> <li>○相づちをうちながら聞く活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の伝えたいことを、相手により分かりやすく伝える活動</li> <li>○相手の伝えたいことについて、要点や概要を聞き取る活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の立場や考えを尊重し、意見や考えを相手と伝え合う活動</li> <li>○自分の考えや意見を、理由などをもとに伝え合う活動</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体全体をつかって表現する活動</li> <li>○音楽を聴いて、よかった所やおもしろい所を話す活動</li> <li>○アドバイスをし合いながら、練習する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽曲を聴いて感じたことや思ったことを話し合う活動</li> <li>○歌唱曲の歌い方の工夫を旋律の特徴や歌詞の内容を根拠に話し合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで意見を出し合っ、工夫しながら演奏を仕上げ、お互いの技能を高め合う活動</li> <li>○鑑賞で意見や感想を伝え合う活動</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品を作りながら、自分の思いを話す活動</li> <li>○友達と作品を見せ合っ、友達の作品の良い所を伝え合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの作品を鑑賞し合い、思いを伝える活動</li> <li>○友達と作品を見せ合っ、自分の作品の工夫した点や友達の作品の良い所を伝え合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの作品や美術作品を鑑賞し、考えを交流する活動</li> <li>○作品を鑑賞し、作者の制作意図をグループで話し合う活動</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の動きのよいところを伝えたり、ポイントを教えたりする活動</li> <li>○どうしたらうまくできるかを考え話し合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の動きのよいところを伝え合ったり、上手に動くためのポイントを教え合う活動</li> <li>○自分たちに合わせたルールを工夫したり、作戦を話し合ったりする活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループやペア活動で目標や作戦等を話し合い、お互いを高め合う活動</li> </ul>
家庭		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活を振り返り、家庭生活の様々な課題について話し合ったり、発表したりする活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭生活における課題を見付け、解決方法について話し合ったり、発表したりする活動</li> </ul>
技術		<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作活動に協力して取り組む活動</li> <li>○作品の評価をし合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作活動に協力して取り組んだり、アドバイスをし合ったりする活動</li> <li>○作品の評価をし合う活動</li> </ul>

# パフォーマンス評価 実施計画

## 1 パフォーマンス評価規準

自分のことをより知ってもらったり、相手のことをより知ったりするために、質問したり感想を伝えたりして、互いのことを伝え合っている。

## 2 下野市「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

【第5学年】イ 身近で簡単な事柄について、自分の気持ちを伝え合うことができる。

【第6学年】イ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

ウ 自分に関係することや身の回りの物についての質問に、その場で答えたり、相手に質問をしたりして、短い会話をするすることができる。

## 3 パフォーマンス評価の具体

- ・扱うテーマは、第一回「自己紹介(6年生は、自分の住んでいる地域の紹介も含む)」、第二回「行きたい場所」とする。(テーマは事前に児童に伝える。)
- ・英語で簡単に挨拶したのち、会話を始める。(挨拶や会話は児童から始める。)
- ・児童はALTと内容に関する質問をしたり、感想を伝えたりしながら、会話を続ける。

## 4 評価基準

評価		【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】 ※自己調整力も含め評価する。
3段階評価	☆の数			
A	3	ALTの聞きたい内容を理解し、不自然な間を置かずに、英語でやり取りをしている。	お互いのことをよりよく知るために、ALT の反応に応じて、自分の意思や感想を伝えたり、質問したりして継続したやり取りをしている。(3回以上のやり取りを目安とする)	お互いのことをよりよく知るために、ALT の反応に応じて、自分の意思や感想を伝えたり、質問したりして継続したやり取りをしようとしている。
B	2	ALTの聞きたい内容を理解し、単語のみで答えたり、日本語が混じったりしながらも、英語でやり取りしている。	お互いのことをよりよく知るために、ALT の反応に応じて、自分の意思や感想を伝えたり、質問したりしてやり取りしている。(1~2回程度のやり取りを目安とする)	お互いのことをよりよく知るために、ALT の反応に応じて、自分の意思や感想を伝えたり、質問したりして、やり取りをしようとしている。
C	1	ALTの聞きたい内容を理解しておらず、単語を使ってもやり取りしていない。	お互いことをよりよく知るために、自分のことを伝えたり、ALT の質問に対して反応を示したりするなど、やり取りしていない。	お互いことをよりよく知るために、自分のことを伝えたり、ALT の質問に対して反応を示したりするなど、やり取りしていない。

## 5 留意点

- ・ルーブリック(上記評価基準)を児童と共有しておく。
- ・【思考・判断・表現】の評価は、「目的や場面、状況等に応じて、話す内容を選び適切に表現しているか」という点が重要。リアクション等のみで評価するのではなく、目的を達成するために、どのように工夫したか、相手の話を受けたやりとりになっているか(会話の内容面)を評価できるようにする。
- ・【主体的に学習に取り組む態度】の評価は、授業中の英語でのやりとりの学びを生かし、改善している部分(自己調整力についても含めて評価する。(児童用ワークシート「**ふり返し**」の自由記述の欄参照)
- ・【知識・技能】は、今まで学習した単語や知っている表現を使って、ある程度英語で正確に伝えたり答えたりしているかについて評価する。

## 6 事前指導

- ・授業中に先生と児童または児童同士でスモールトーク(フリートーク)を継続して行い、表現に十分に慣れさせておく。
- ・相手の様子を見ながら、必要に応じて言い直したり、繰り返したりすることや、相手が言ったことに対して感想を述べたり質問したりすることが互いをより知ることになり、コミュニケーションが円滑に進むことを確認する。

(【思考・判断・表現】及び児童用ふり返し用紙「工夫して」の視点につながる)

・「自分のことを知ってもらったり、相手のことを知ったりするために、お互いのことを伝え合う」という目的を伝える。

(児童には、コミュニケーションの目的について伝え、特定の表現を使って会話をする事は伝えない。)



自分の行きたい場所について自分のことを知ってもらったり、〇〇先生のことを知ったりするために、お互いのことを伝え合しましょう。

コミュニケーションの目的を達成するために、児童がどのように工夫しているか(質問したり、感想を伝えたりする等)を評価するため、目的を明確に伝えましょう。



「Where do you want to go?」と聞かれたら、「I want to go to ~.」と自分の行きたい場所について答えましょう。

特定の表現を使うなど、言語材料を指定することは、【知識・技能】を評価することになります。特にパフォーマンステストの直前などに、特定の表現について練習させる必要はありません。

## 7 実施中

- ・挨拶や会話は、児童からALTに話かけることを確認してから始める。
- ・実施時間は一人1分程度とする。
- ・児童が質問の意味を理解していない場合には、10秒程度待った後、ヒントを与える。(すぐにはヒントを与えない。)  
例) T: What subjects do you like?      S: ... (約10秒)      T: Japanese? P.E? Music?
- ・ALTが質問し、児童が答えられない(無言)状態が10秒程度続いた場合は、次の質問に進む。
- ・ALTは、児童の受け答えに対して、児童に質問する機会(間)を与えるなど、伝えるための工夫する場面を作る。

## 8 事後指導

- ・児童自身が会話を振り返り、「英語で」「工夫して」の観点から、自己評価を行う。
- ・自分の会話を振り返り、できるようになったこと(話す・聞く)や工夫したことを記述させ、学びの手応えを感じられるようにする。
- ・言いたくても英語で言えなかった表現や工夫した表現を確認し、全体で共有する。
- ・A評価の児童の様子を学級全体で共有する。



Talking Time

Name ( )

めあて

自分のことを知ってもらったり、クラリス先生のことを知ったりして、もっと仲良くなるために、お互いのことを伝え合おう!!

ポイント(これができたら、★★)

## 英語を使って ★★

- ・今まで習った単語や、知っている表現を使って会話をしよう。

(知らない単語は、日本語で伝えてもいいよ!)

Level up!!

★★★

- ・単語だけでなく、文章で答えてみよう!
- ・不自然な間をあげずに会話しよう!

例) What food do you like?

★★ Sushi.

★★★ I like sushi.



## 工夫して ★★

- ・自分のことをよく知ってもらえるように伝えよう。(伝わっているかどうか確認したり、言い直したりする)  
例) OK?
- ・クラリス先生のことをよく知るために、質問しよう。  
例) How about you?  
What ~ do you like?
- ・感想や自分の考えを伝えながら会話しよう。  
例) Me, too.  
It's good!

Level up!!

★★★

- ・自分のことをもっと知ってもらうためにより詳しく自分の考えを伝えよう。
- ・クラリス先生のことをもっと知るためにより多く質問してみよう。

※クラリス先生とのやり取りを3回以上続けることを目標にしよう。

ふり返り

英語で	工夫して
☆☆☆	☆☆☆

○できたこと・がんばったこと

○これからがんばりたいこと

